

## 【研究ノート】

# 幼稚園教育実習課題曲の難易度と 保育活動の活用場面に着目した音楽実技指導

山下 真由美

## Kindergarten Educational Practice Tasks and Music Practical Instruction Focusing on the Utilization Scene of Childcare Activities

Mayumi YAMASHITA

本研究は、函館市及び近郊幼稚園教育実習における実習課題曲の楽曲分析を踏まえ、課題曲の全容を明らかにし、課題曲の難易度と課題曲の保育活動の活用場面に着目した音楽実技指導について検討した。その結果、「①難易度はバイエル修了程度、②園の教育理念の反映、③活用場面を想定した練習、④実習楽曲準備は15曲程度、⑤頻度が多い曲のレパートリー化、⑥1年次『おはよう』『おべんとう』『おかえりのうた』習得、⑦模範演奏学習支援、⑧コード簡易伴奏法」等の音楽実技指導の知見を得た。

キーワード：幼稚園教育実習課題曲、音楽実技指導、難易度、弾き歌い、音楽表現

### 1 はじめに

「音楽・歌は第二の母語である」とは、ハンガリーの音楽教育者コダーイ・ゾルターンンの言葉である。コダーイは、音楽、とりわけその国に古くから親しまれている歌やわらべうたは、子どもの遊びや生活の中において子どもの豊かな情操を育くむとし、乳幼児期・児童期の音楽活動の重要性を述べている。我が国の保育所や幼稚園など、保育活動の様々な場面において子ども達や保育者の歌声は溢れている。例えば、保育・幼児教育の活動で見かける「弾き歌い」は、保育者のピアノ伴奏に合わせて、子ども達は歌を口ずさむ。この「弾き歌い」は、保育士試験（国家試験）の実技試験にも課せられることから、保育士・幼稚園教諭の専門的技術の一つとしてあげられるであろう。保育者は、自らが音楽を奏で、自ら歌を口ずさみ、そして音楽の楽しさや喜びを子どもたちと共感し合いながら、子どもたちを音楽の豊穡なる森へと誘うのである。つまり、「弾き歌い」は、「遊びへの展開」（保育所保育指針2017）であり、保育者の専門性のひとつとして捉えることができよう。

本学短期大学保育学科は、2年間で保育士・幼稚園教諭養成課程を修了するカリキュラムを構成している。学生の音楽経験歴は、半数以上がピアノ

等鍵盤楽器の未経験者である一方、その他の学生はお稽古ごと等の音楽経験を有する学生である。したがって、ピアノ等鍵盤楽器初学者である半数以上の学生は、入学後に一から鍵盤楽器を操作する身体知磨き、自己と向き合いながら音楽技能を身に付けていくこととなる。

実習においては、1年次の2月に保育所における観察実習を行い、2年次には学生自らが選択したコース（保育所、施設、幼稚園等の就労先の希望）において実習に取り組む。幼稚園教育実習では、実習園からの「課題曲」の提示が多いことを踏まえ、特に入学後に初めてピアノ演奏技能の習得に取り組み始めた初学者の学生は、入学後の1年4ヶ月程の短期間に、ピアノ演奏の基礎技能と子どもの歌をうたいながら演奏するという、いわゆる「弾き歌い」の音楽技能習得を目指すことになる。そのため、実習課題曲の弾き歌い準備においては、学生自身が、「課題曲はどのような楽曲であるのか」を知り、その認識に基づく主体的な練習・準備が不可欠となってくる。

実習における課題曲の先行研究として石塚・岡泉（2013）は、栃木・群馬県・茨城県等の幼稚園教育実習において、実習園のピアノ課題曲（生活の歌）がどのような楽曲であるのか調査を行い、

その結果、地域の課題曲の特色を踏まえた音楽実技指導の試みを検討している。また、河原田(2008)や小澤(2008)は、実習後学生に対して保育実習アンケートを実施し、「子どもの歌」や「生活の歌」、「季節の歌」として実習園が取り上げている楽曲について調査を行い、日常的に歌われている楽曲が実習課題曲として求められていることを示している。これらの研究からは、課題曲の全容の把握は、地域の特性を踏まえた実習準備と音楽実技指導への有用性が示されている。実習園での活動の様子を事前に知り・学ぶことで、学生は実習そのものへ主体的な意識をもつことができるからであろう。ここで函館市及び近郊地域の幼稚園教育実習課題曲の全容を鑑みると、未だ明らかにされていない状況である。

そこで本研究では、函館市及び近郊の幼稚園教育実習課題曲の全容を明らかにするとともに、課題曲の難易度と、課題曲が保育活動のどのような場面に活用されているのか検討を行い、学生の音楽技能の向上と、課題曲を踏まえた音楽実技指導について考察することを目的とする。

## 2. 方法

### (1) 対象・方法

平成27年から平成30年における函館市及び近郊の幼稚園教育実習実施において、実習先幼稚園から指定された課題曲(約150曲)について、課題曲の難易度及び保育活動における活用場面の整理・検討に基づき、課題曲の全容を明らかにする。次に、全容を踏まえ、音楽実技指導について検討を行う。

### (2) 音楽実技指導カリキュラム

同課題曲について山下(2019)は、『幼稚園教育実習における実習課題曲の楽曲・奏法の分析』において、「幼稚園教育実習課題曲は、およそバイエル修了程度」との知見を示している。『バイエル教則本』は、ピアノ基礎技能の習得を段階的に示した初学者向けの指導書である。一般的に「バイエル修了程度」と示される演奏技能レベルは、「簡単な曲を両手で演奏できる程度」を意味する。『バイエル教則本』の緒言には、「初歩の学習書として生徒が1年か2年間けいこするために必要な教材を示した」とバイエルにより記されている。

このように、ピアノ初学者が基礎技能を習得するためには相当の時間を要する。保育士・幼稚園教諭養成課程における音楽実技指導内容と指導時間について多田・紺谷(2019)は、15分の個人指導カリキュラムを構成し、内容を精査・検討して指導を行っていることを示している。本学の音楽実技指導時間(「保育者のための音楽I」)カリキュラムは、2017年より、およそ3分(3分×授業通年30回=年間90分)であり、1年次修了にはバイエル修了程度のピアノ基礎技能の習得を目標としている。

### (3) 音楽の諸要素を基にした楽曲・奏法の分析による課題曲の特徴

先行研究である『幼稚園教育実習における実習課題曲の楽曲・奏法の分析』(山下2019)では、平成27年から平成30年に函館市及び近郊の幼稚園教育実習において、実習園から指定された同課題曲(約150曲)について音楽の諸要素(調整・伴奏形態・伴奏奏法の特徴・リズムの特徴・コード・楽語・発想記号等)を基に課題曲の奏法・楽曲分析を行い、課題曲の音楽的特徴について明らかにした(表1・表2)。

表1. 幼稚園教育実習課題曲の特徴

- |  |
|--|
| <p>①調性は、調号2つまでのハ長調、ト長調、ヘ長調、ニ長調、</p> <p>②演奏形態は、歌の旋律を右手で奏し、左手は伴奏<br/>伴奏法は、右手は歌と同じ旋律を奏し、左手は、I、IV、Vの和音や分散和音が多い(アルペッジョやアルベルティ・バス)</p> <p>④リズムは、左手奏法は、I、IV、Vのコードの和音や分散和音を一定のリズムで刻む拍節的なリズムが多い。4ビートや8ビートを刻む場合は難易度が高い。</p> <p>⑤コードは、調号2つまでの各I、IV、Vのコード</p> <p>⑥楽語等の音楽の基礎的知識は、小・中学校学習指導要領に示される基本的内容である</p> |
|--|

表 2. 音楽の諸要素を基にした幼稚園教育実習における課題曲の分析・特徴

(1)調性	(2)伴奏形態	(3)伴奏奏法	(4)リズム	(5)コード	(6)楽語・記号等
調号2つ までの 4つの 長調 ただし 変ロ長 調は示 されな い	① 「右手は 歌と同じ旋 律」を弾き、 「左手は伴 奏を」弾く	①右手は歌と同旋律を弾き、左手は伴奏を弾く場合の《左手》奏法  《左手》の動き → 難易度：低 ア) 和音 イ) 分散和音：アルペジオ、アルベルティ・バス) 分散和音：根音単音(ド)と第3音(ミ)、第5音(ソ)は重音奏法 エ) 重音(2音)：根音と5度(ドとソ)や6度(シとソ)等、またはオクターブ進行 オ) 総合：和声に基づく旋律進行	① 難易度：低 中 全体として拍を分割する 単純な拍節・リズムパターンが多い	① C ② F ③ G, G7 ④ D, D7 ⑤ A7	① 強弱記号 ② クレッシェンド cresc. ③ ディクレッシェンド decresc.
① ハ長調 ② ト長調 (#1) ③ ニ長調 (#2) ④ ヘ長調 (b1)	② 「右手は歌と同じ旋律を基本とするバリエーション」を弾き、 「左手は伴奏」を弾く	②右手は歌と同旋律のバリエーションを弾く場合の《右手》奏法 * 左手に関しては上段①を参照  《右手》の動き → 難易度：中 カ) 右手小指・薬指・中指は上声音として歌と同旋律を奏し、右手親指は時折重音を奏す(右手2音) キ) 右手小指・薬指・中指は上声音として拍頭で歌の旋律を奏し、他の指(親指・人差し指)は裏拍で内声を奏す ク) 右手小指・薬指・中指は上声音として歌と同旋律を奏し、他の指(親指・人差し指)は3度の重音を奏す	その他の特徴的なリズムは次の通り ↓ 難易度：高	⑥ Am ⑦ Dm ⑧ Em	④ アクセント ⑤ スタッカート ⑥ リタルダンド、rit ⑦ タイ
⑤ 変ホ長調 (b3)	③ 「両手で歌の伴奏」を弾く。 つまり、歌と右手は歌と同じ旋律をなぞり弾きせず、 「両手で歌の伴奏を弾く」	③両手伴奏  《両手》の動き → 難易度：高 ケ) 二声または四声の進行：賛美歌等の伴奏の四声は、「右手小指又は薬指はソプラノ」、「右手親指又は人差し指はアルトの内声」、「左手薬指又は小指はバス」、「左手親指他はテノールの内声」を奏す コ) ビートを刻む：両手でコードを4ビートまたは8ビートで奏す 左手の和音の強拍は根音、右手は弱拍に和音を奏す	② コードを4ビートで奏す  ③ コードを8ビートで奏す  ③ シンコペーションを奏す	⑨ 各 I, IV, Vの和音が主である	⑧ スラー ⑨ 3連符 ⑩ 臨時記号 ⑪ 装飾音 ⑫ コーダ ⑬ 反復記号 ⑭ ブレス

\* 『幼稚園教育実習における実習課題曲の楽曲・奏法の分析』(山下 2019) を援用

### 3. 結果

#### (1) 課題曲の保育活動の活用場面

音楽は、人間の営みにおいて様々な役割を包含する(小泉2005)。保育・幼児教育においても音楽は様々な使われ方や役目をもつ。たとえば、音楽に教育理念が含意されたり、毎日の行動様式に何等かの意味をもたせたり、行動の節目を促したり、さらには感情の安定や活性化、情操の育成など多様な意図や働きが音楽に内包される(マーセル1971)。したがって、保育活動における課題曲の活用場面の検討は、保育者が内包された音楽の意図を読み取る視点を育てることに繋がる。

石塚・岡泉(2013)は、保育活動で歌われるうたを「生活場面のうた」とし、6つのシーン(①朝の時間、②昼の時間、③お帰りの時間、④落ちつかせる時、⑤切り替えの時間、⑥お片づけの時)に分け、課題曲の考察を示している。

本論では、実習園からの活用場面の指示や活用場面を想定し、(1)生活の歌、(2)季節・行事の歌、(3)園歌の3つのカテゴリーに分類する。さらに、サブカテゴリーとして、①生活の歌、②園独自の歌・曲、③季節の歌、④行事の歌、⑤園歌の5つに分類する(表3)。

表3. 保育活動の活用場面に着目した分類

カテゴリー	サブカテゴリー	a. 楽曲内容	b. 音楽の意図や働き
(1) 生活の歌	①生活の歌	・朝の歌、昼食時の歌、お帰りの歌、お片づけ時の歌	・生活の節目や、次の行動のきっかけをつくる ・行動を促すことを目的とした歌や音楽
	②園独自の歌・曲	・礼拝時の前奏曲やお祈りの際の歌	・教育理念を音楽に託して伝える曲や歌
(2) 季節・行事の歌	③季節の歌	・月間を通して「月の歌」に取組む ・季節に合わせた歌	・「毎月の歌」を歌うことで継続して音楽に親しむ ・季節の歌を歌唱し、季節感や情操を育てる
	④行事の歌	・運動会や誕生会、お遊戯会など	・行事の意識付けや取組みへの期待や意欲を育てる
(3) 園歌	⑤園歌	・各園の歌	・園に親しむ心を育てる

#### (2) 課題曲難易度

「課題曲の難易度」については、「音楽の諸要素を基にした幼稚園教育実習における課題曲の分析・特徴」(山下2019)の視点を基に、楽譜表記内容を踏まえて、難易度を低・中・高の3つに区分する(表4)。

表4. 課題曲の難易度の指標

難易度・低	『バイエル教則本』後半程度 全106番の内およそ55番以降 (*またはアルベルティ・バスによる両手演奏)
難易度・中	『バイエル教則本』修了程度
難易度・高	『*ブルグミュラー25の練習曲』履修開始程度

\*「アルベルティ・バス」: 伴奏法のひとつ。低音部に分散和音またはアルペッジョを用いた伴奏の一種。3音からなる和音を例えばドソミソのように奏すること。

作曲家ドメニコ・アルベルティ(1710-1740)が愛用した。

\*「ブルグミュラー25の練習曲」: 「バイエル教則本」の次の段階に取組むエチュード(練習曲)。題名が付けられた25の楽曲から構成される。フリードリッヒ・ヨハン・フランツ・ブルグミュラー(1806-1874)によって作曲される。

#### (3) 難易度・保育活動の活用場面に着目した課題曲の全容

次に、実習先幼稚園20園(A園からT園)の全課題曲について、難易度・保育活動の活用場面に着目した課題曲の全容について検討を行う。まず、「音楽の諸要素を基にした幼稚園教育実習における課題曲の特徴」(表2)を踏まえ、各楽曲の「難易度(低・中・高)」(表4)の検討を行う。さらに「保育活動の活用場面に着目した分類」(表3)と併せて整理したものが、「難易度・保育活動の活用場面に着目した課題曲の全容」(表5)である。なお、下線は重複している楽曲を示す。

表5. 難易度・保育活動の活用場面に着目した課題曲の全容

カテゴリー	カテゴリーサブ	難易度・低 (バイエル後半程度)	難易度・中 (バイエル修了程度)	難易度・高 (ブルグミュラー)
(1) 生活の歌	① 生活の歌	<p>【E園】「お帰りのうた」</p> <p>【F園】「朝の歌」「ランチ Time」「<u>さよなら</u>」</p> <p>【G園】「おべんとう」</p> <p>【G園】「<u>さよなら</u>」</p> <p>【H園】「<u>よがあげた</u>」 「めぐみのかみさま」昼「おかえりのうた」</p> <p>【I園】「<u>さよなら</u>」</p> <p>【K園】「<u>お当番</u>」 「おへんじのうた」 「いすバスさん」「おかたづけ」</p> <p>【K園】「おはなし」「修礼」「座る」「立つ」</p> <p>【M園】「<u>おとうぼんのうた</u>」「<u>あいさつ</u>」 「<u>ごちそうさまのうた</u>」</p> <p>【M園】「<u>おとうぼんのうた</u>」「<u>あいさつ</u>」 「<u>ごちそうさまのうた</u>」「おべんとうのうた」</p> <p>【N園】「おはようのうた」「おべんとう」</p> <p>【O園】「おべんとう」「夜が明けた」</p> <p>【P園】「<u>ガンバリマンのうた</u>」(単旋律)</p> <p>【R園】「<u>おべんとう</u>」「<u>お帰りのうた</u>」 「<u>さよならのうた</u>」</p>	<p>【A園】「おはよう」「おかえりのうた」</p> <p>【B園】「<u>しょくぜんのおいのり</u>」 「うれしいあきさよ」「むぎのたね」</p> <p>【C園】「<u>しょくぜんのおいのり</u>」 「さよなら」</p> <p>【D園】「てんのおとうさま」</p> <p>【F園】「おとうぼんの曲」</p> <p>【I園】「<u>しょくぜんのおいのり</u>」</p> <p>【M園】「<u>さよならのうた</u>」</p> <p>【K園】「おはなし」</p> <p>【M園】「みんな仲間だ」〔朝の歌〕</p> <p>【N園】「<u>さよならのうた</u>」</p> <p>【O園】「<u>がんばりまんのうた</u>」</p> <p>【R園】「<u>さよならのうた</u>」</p>	<p>【B園】 「うれしいあきの」</p> <p>【M園】 「1, 2, 3, のごあいさつ」</p>
	② 園独自の歌・礼拝の曲等	<p>【B園】「<u>ちいさいおてて</u>」</p> <p>【C園】「<u>小さいお手々</u>」「マリアさま」 「賛美せよ」「<u>おいのり</u>」</p> <p>【D園】「<u>おいのり</u>」「<u>前奏曲</u>」「うたいましょう」</p> <p>【E園】「よいちにおちた」「マリアさまのこころ」「いつもいっしょに」「忘れないうた」</p> <p>【F園】「<u>おいのり</u>」「<u>前奏曲</u>」</p> <p>【G園】「おめぐみてんでしょう」「たまもの」両単旋律「<u>小さいお手々</u>」</p> <p>【G園】「<u>おいのり</u>」「<u>前奏曲</u>」</p>	<p>【A園】「わたくしたちの」「ちから」 「てんのおとうさま」「<u>ちいさいおてて</u>」「祈り」「おまもりください しゅイエスさま」</p> <p>【B園】「あさです おはようございます」「主人ののぞみのよろこびを」「いつでもなかよく」</p> <p>【C園】「園のことば」「ごらんよ空の鳥」「かみさまがわかるでしょ」</p> <p>【D園】「かみさまに」「うたいましょう」歌の伴奏</p>	<p>【A園】「山のワルツ」</p> <p>【D園】「あおの空はどうしてあおい」</p>

		<p>【H園】「前奏曲」「しゅイエスさまは まことぶどうのき」「こどもをまねく」「むぎのたねまきます」</p> <p>【I園】「天の母さま」単「水のころ」単旋律「前奏曲」</p> <p>【K園】「約束のうた」「黙想の曲1」「黙想の曲2」「みていてね」「みんななかまだ」</p> <p>【O園】「夜が明けた」「朝の会」</p>	<p>【E園】「水のころ」両手「せいぼマリアの」「小さいわたしのおともだち」「イエスさまがいちばん」「いのってください マリアさま」</p> <p>【F園】「やまにはけわしい」「ちから」「もりもおやまも」</p> <p>【H園】「ひかりひかり」「せかいのこどもは」「山のかんしゃさい」「後奏曲」「前奏曲ー静かなお話ー」</p>	
(2) 季節・行事の歌	③ 季節の歌・月の歌・童謡など	<p>【N園】「メリーさんのひつじ」「水あそび」「虫の声」</p> <p>【P園】「しゃぼんだま」</p> <p>【P園】「つき」</p>	<p>【A園】「こどもの世界」「おひさまになりたい」「どうぶつえんへいこう」</p> <p>【N園】「とんぼのめがね」「松ぼっくり」「うみ」「どんぐりころころ」</p> <p>【P園】「アイスクリームのうた」</p> <p>【Q園】「かぼちゃのチャチャチャ」「オバケなんてないさ」</p> <p>【S園】「やぎさんゆうびん」「すいかのめいさんち」「とんぼのめがね」「南の島のハメハメ大王」</p> <p>【T園】「とんぼのめがね」</p> <p>【J幼稚園】「はたけのポルカ」「どんぐりころころ」</p>	<p>【A園】</p> <p>【S園】「アイアイ」</p> <p>【E園】「たきび」</p>
	④ 行事の歌	<p>【A園】「ありがとう」「きょうはうれしいかんしゃさい」「ぼくらのマーチ」</p> <p>【P園】「うんどうかい」</p> <p>【Q園】「お誕生月なかま」</p> <p>【S幼稚園】「うんどうかい」</p>	<p>【A園】「そのかずいくつ」変ホ</p> <p>【F園】「うちゅうせんとうた」</p> <p>【T園】「運動会のうた」</p>	
(3) 園歌	⑤ 園歌	【G園】「幼稚園園歌」	【K園】「幼稚園園歌」	

(4) 函館・近郊における幼稚園教育実習の課題曲の概要

次に、これまでの結果を基に、実習園の教育理念を踏まえた「実習先幼稚園の形態」と「課題曲

数」,「課題曲の概要」について検討を行い、「函館・近郊における幼稚園教育実習の課題曲の概要」を示す(表6)。

表6. 函館・近郊における幼稚園教育実習における課題曲の概要

形態	実習先幼稚園	課題曲数	課題の概要
キリスト教系私立幼稚園	A 幼稚園	10 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園。礼拝時の伴奏やお祈りの歌が多い。
	B 幼稚園	8 曲	
	C 幼稚園	10 曲	
	D 幼稚園	7 曲	
	E 幼稚園	5 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園。礼拝時の伴奏やお祈りの歌が多い。本園は毎年課題曲が変更。
	F 幼稚園	7 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園。礼拝時の伴奏やお祈りの歌が多い。朝や帰りの会、お昼の歌は園独自の曲。
	G 幼稚園	8 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園。礼拝時の伴奏やお祈りの歌が多い。
	H 幼稚園	8 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園。礼拝時の伴奏やお祈りの歌が多い。お昼の歌は園独自の曲。
	I 幼稚園	5 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園。礼拝時の伴奏やお祈りの歌が多い。お昼の歌、帰りのうたは園独自の曲。
	J 幼稚園	2 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園であるが、園の理念を反映する園独自の課題曲の指定はない。童謡 2 曲が課題。
仏教系私立幼稚園	K 幼稚園	8 曲	自園の教育理念に基づく幼稚園。「ごちそうさま」の歌（昼食時）や「約束の歌」（黙想）など、園の教育理念が反映する園独自の課題曲。（*「おはようのうた」「おべんとう」「おかえりのうた」の通常の 3 曲とは別曲）
	L 幼稚園	5 曲	自園の教育理念に基づき「ごちそうさま」や「おべんとうのうた」（昼食時）は、園の教育理念が反映する園独自の曲。（*「おはようのうた」「おべんとう」「おかえりのうた」の通常の 3 曲とは別曲）
他私立幼稚園	M 幼稚園	2 曲	「1, 2, 3, のごあいさつ」の伴奏は、右手が歌の旋律をなぞらずに両手伴奏で 4 ビートを刻むため高度である。間奏含め 26 小節。他課題曲よりも楽曲構成が大きく、教育実習課題曲としては最も難易度が高い。（本園は付属幼稚園）
	N 幼稚園	12 曲	小品を含め（4 小節程度）、課題曲が最多の 12 曲。内季節の歌の課題曲は 8 曲。
	O 幼稚園	3 曲	*「おはようのうた」「おべんとう」「おかえりのうた」は、通常の 3 曲。
	P 幼稚園	4 曲	昼食時に用いる音楽の流れが決まっている。「きらきら星」を前奏に弾き、次に「おべんとう」を歌う。
	Q 幼稚園	2 曲	毎月の歌を決めて歌唱。毎月の歌（童謡）が課題曲。
公立幼稚園	R 幼稚園	6 曲	公立（市立）幼稚園。*「おはようのうた」「おべんとう」「さよならのうた」の通常の 3 曲の他、童謡が課題曲。
	S 幼稚園	5 曲	公立（町立）幼稚園。童謡 5 曲が課題曲。（採用試験課題曲として、実習課題の中の 2 曲が指定）
	T 幼稚園	2 曲	公立（町立）幼稚園。S 幼稚園と同地域の公立幼稚園。（採用試験課題曲は、実習課題の中から 1 曲が指定）

\*「おはようのうた」「おべんとう」「おかえりのうた」の通常の 3 曲とは、「おはよう」は作詞:益子とし、補作:佐藤玲、作詞:本多鉄磨。「おべんとう」は、作詞:穴野蝶、作曲:一宮道子。「おかえりのうた」は、作詞:天野蝶、作詞:一宮道子 の作品を示す。

#### 4. 考察・課題

これらの結果を踏まえて、考察・課題を示す。

##### (1) バイエル修了程度またはそれ以上の音楽技能の習得

幼稚園教育実習課題曲の「難易度」は、難易度(低)をバイエル後半程度、難易度(中)を『バイエル』修了程度、難易度(高)を『ブルグミュラー25の練習曲』履修開始程度と想定した。その結果、難易度(低)は(50%)、難易度(中)は(45%)、難易度(高)は数曲(5%)であった。このことから、幼稚園教育実習課題曲は、バイエル修了程度の音楽技能が必要とされることが分かった。

##### (2) 課題曲は、園の教育理念を反映する

本研究では、函館市及び近郊の幼稚園課題曲の全容を明らかにし、保育活動における課題曲の活用場面に着目した結果、本地域の私立幼稚園の半数以上は宗教教育の理念に基づく園であることから、課題曲は園の教育理念を反映することが分かった。たとえば、「園の独自の歌」には、毎日の礼拝で用いられる「おいのり」や「前奏曲」、また「生活の歌」にも「しょくぜんのおいのり」などのうたが歌われる。

##### (3) 課題曲(音楽)が使われる場面を想定した練習

課題曲の練習においては、音楽技能の習得と併せて、課題曲が実習園の保育活動のどのような場面に使われるのかを想定・認識した楽曲練習が必要である。

##### (4) 実習に向けた楽曲準備は15曲程度

幼稚園20園の実習課題曲において、課題曲提示の最多は12曲であり、平均して5曲から10曲が課せられていることが分かった。その他、幼稚園教育実習においては「自由曲」として季節の歌や童謡など3~4曲用意するよう指示される場合も多い。これらの状況を踏まえると、日常的に歌われる「おはよう」、「おべんとう」、「おかえりの歌」の3曲と自由曲(3~4曲)、そして課題曲(5曲~10曲)を合わせて、計15曲程度の楽曲の準備が必要であることが明らかとなった。

そのため、学生は2年次の実習に向けて主体的・計画的に練習や準備を行う必要がある。とりわけ、

入学後にピアノ演奏の学習を開始した初学者は、実習課題曲の全容を踏まえた課題曲練習と、自らの技能の熟達に合わせた「レパートリー」を増やしていくなど、学習法の工夫が必要である。

##### (5) 重複課題をレパートリーに：『とんぼのめがね』『どんぐりころこ』『アイアイ』等

「季節の歌等」では、各園で重複する楽曲が見受けられた(『とんぼのめがね』『どんぐりころこ』『アイアイ』)。したがって頻度が高い楽曲については、1年次の学習開始から取組み楽曲に指定し、「レパートリー」として学生の自己学習曲に位置づけるなどの工夫が必要である。

##### (6) 1年次修了までに「おはよう」「おべんとう」「おかえりのうた」3曲を習得

課題曲の「保育活動の活用場面に着目した検討」の結果、「生活の歌」が8割を占め、日常生活の保育活動において用いられる楽曲が課題曲として指定されることが分かった。このことから、保育・幼児教育において、日常的に使われる曲である「おはようのうた」、「おべんとう」、「おかえりのうた」は、1年次の終わりまでに弾き歌うことができるよう取組むことが必要であると結論づける。

一方、実習園によっては通常歌われる「おはよう」、「おべんとう」、「おかえりのうた」以外の楽曲を課題曲に指定する園も見受けられる。その場合は、別曲であることから、あらたに練習に取組む必要がある。(園の教育理念が反映される)

##### (7) 模範演奏等の学習支援

実習課題曲は、童謡や唱歌などの指定曲を除き、学生は初めて耳にする曲が殆どであることから楽曲のイメージをもち難い学生が多い。とりわけ、読譜力が十分でない初学者は難儀する傾向にある。そのため、模範演奏の音源による教育的サポートも必要であると考察する。

##### (8) コード理解に基づく簡易伴奏法の検討

実習に向けた楽曲準備は、15曲程度であることを踏まえて、指定された課題曲について楽譜通りの演奏が困難な学生に対しては、左手簡易伴奏の工夫が必要である。具体的には、右手は歌と同じ旋律をなぞり弾きし、左手は、主要三和音の和音や、コードの根音(1音)を奏するなどの簡易



伴奏を行う方法である。この方法は、一度に鍵盤をおさえる指の数が少ないことから伴奏が容易である。また左手伴奏は、和声進行上の根音をベース音として奏することから、聴こえる音の数は少ないものの伴奏として大きな問題がなく聴こえるというメリットがある。特に、ピアノ演奏の経験が浅い学生には、有用な伴奏法である。しかし、和声の音楽理論が必要であるため、「音楽基礎知識（楽典）」の理解が不十分な場合は困難が生じるが、「コードの根音を伴奏にする」という段階的理解を踏まえば、奏することが可能である考察する。

以上、函館市及び近郊地域の幼稚園教育実習課題曲の全容について明らかにし、課題曲の難易度と保育活動の活用場面に着目した音楽実技指導について考察を行った。本研究による課題曲の調査・分析において本地域の課題曲の特徴や音楽の使い方が明らかとなることで、学生が実習課題曲の取組みにおいて力を発揮し、子どもたちと豊かな音楽活動を楽しむ、実りある実習体験となることを願う。

今後は、本研究の考察を踏まえて、学生の音楽技能の段階的習得に向けて、「簡易伴奏メソッドの開発」及び「弾き歌いの熟達過程」について検討をおこないたい。

#### 付記

- 1) 本論は、「幼稚園教育実習課題曲の楽曲・奏法の分析」(山下2019)を基に、幼稚園教育実習同課題曲の難易度及び保育活動の活用場面に着目した音楽実技指導について検討したものである。
  - 2) 本研究の関連研究成果として次を公表している。
- 山下真由美 (2019) 幼稚園教育実習課題曲の楽曲・奏法の分析. 北海道教育大学学校教育学会誌23

#### 参考文献

フォライ・カタリシナ, セーニ・エルジェーベ／音羽協子訳 (1974) コダーイシステムとは何か,

- ハンガリー教育の理論と実践. 全音楽譜出版  
ブルグミュラー25の練習曲 (2008) 全音ピアノライブラリー. 全音楽譜出版社  
標準バイエルピアノ教則本 (2008) 全音ピアノライブラリー. 全音楽譜出版社  
石岡将之. 岡泉志のぶ (2013) 幼稚園教育実習におけるピアノ課題曲 (生活の歌) 資料: 栃木県下の私立幼稚園を中心に  
ジェームス・L・マーセル・M・グレーン／供田武嘉津訳 (1965)  
音楽教育心理学. 音楽之友社  
ジェームス・L・マーセル／美田節子訳 (1967)  
音楽教育と人間形成. 音楽之友社  
ジェームス・L・マーセル／美田節子訳 (1971)  
音楽的成長のための教育. 音楽之友社  
河原田潤. 幼児保育現場で取り上げられる「子ども歌」と考察2—教育実習(幼稚園)アンケートによる幼児音楽について—. 常葉学学園短期大学平成20年度紀要. 2008  
コダーイ・ゾルターン／中川弘一訳 (1980) コダーイ・ゾルターンの教育思想と実践. 全音楽譜出版社  
厚生労働省 (2017) 保育所保育指針  
文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領  
文部科学省 (2017) 中学校学習指導要領  
文部科学省 (2017) 幼稚園教育要領  
小澤和恵. 保育所・幼稚園教育実習で求められる音楽活動の考察「生活の歌」と「季節の歌」について. 埼玉純真短期大学研究論文集第2大島富士子 (2009) 正しい楽譜の読み方—バッハからシューベルトまで—ウィーン音楽大学インゴマー・ライナー教授の講義ノート. 現代ギター社  
音仁協子 (1981) コダーイシステムによる音楽指導の実際. 全音楽譜出版社  
島岡譲 (1964) 和声と音式のアナリーゼ. 音楽之友社  
山下真由美 (2019) 幼稚園教育実習課題曲の楽曲・奏法の分析. 北海道教育大学学校教育学会誌23